



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月4日

上場会社名 クリエイトメディック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5187 URL <http://createmedic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 吉野 周三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画室長 (氏名) 橋井 敦 (TEL) 045(943)2611
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 平成22年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年12月期第2四半期 | 4,503 | 2.2 | 617 | △1.9 | 590 | △6.6 | 367 | 55.7 |
| 21年12月期第2四半期 | 4,405 | — | 629 | — | 632 | — | 235 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期第2四半期 | 38.17 | — |
| 21年12月期第2四半期 | 24.52 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年12月期第2四半期 | 14,562 | 10,706 | 73.5 | 1,113.33 |
| 21年12月期 | 14,368 | 10,566 | 73.5 | 1,098.73 |

(参考)自己資本 22年12月期第2四半期 10,706百万円 21年12月期 10,566百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年12月期 | — | 15.00 | — | 18.00 | 33.00 |
| 22年12月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 22年12月期(予想) | — | — | — | 18.00 | 33.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,470 | 5.0 | 1,278 | 0.1 | 1,270 | 2.6 | 788 | 26.0 | 81.94 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有
新規 1社 (社名) Vietnam Create Medic Co., Ltd.

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 22年12月期2Q | 9,664,327株 | 21年12月期 | 9,664,327株 |
| 22年12月期2Q | 47,511株 | 21年12月期 | 47,355株 |
| 22年12月期2Q | 9,616,886株 | 21年12月期2Q | 9,617,182株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|------|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 3 |
| 2. その他の情報 | P. 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | P. 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | P. 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | P. 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | P. 6 |
| (第2四半期連結累計期間) | P. 6 |
| (第2四半期連結会計期間) | P. 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P. 9 |
| (5) セグメント情報 | P. 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気はやや持ち直してきているものの、株安や円高傾向は強まり、デフレの長期化など企業収益に影響を及ぼしかねない状況が続いております。

当医療機器業界におきましては、本年4月の診療報酬改定において10年ぶりに報酬全体の引き上げが行われたものの、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。経営の効率化はもちろんのことですが、今まで以上に品質、安全性を確保することが経営上の重要な課題となってきております。

このような状況のもと、当社グループは経営基盤をより強固なものとするために、一昨年より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせました。中期経営計画「クリエートバリュー100」では、社員一人ひとりが意識の変革をおこなう事によって新しい価値を生み出し、売上高100億円の達成を目指しております。この方針に基づいて年初に、自社販売に更に重点をおくために全国を4営業部体制に変更して、より効率的な営業体制の構築を行いました。また、経費面では引き続き効率的な運用を行なっておりますが、生産能力拡大及び原価低減を目的として6月に生産子会社をベトナムに設立いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は自社販売を中心に全販売形態で売上を伸ばした結果、4,503百万円と前年同期比2.2%の増収となりました。

これらを販売形態別に見ますと、まず自社販売は3,333百万円（前年同期比0.2%増）となりました。系統別の内訳では、泌尿器系はフォーリーカテーテル、セフティカテ、膀胱ろうカテーテルなど全般的に数量・金額ともに販売を順調に伸ばしました。消化器系は、イレウスチューブがやや伸張しましたが、胃ろう造設術関連製品が交換用カテーテル類を中心に伸び悩んだことにより減少しました。外科系では内視鏡下手術関連製品は増加しましたが、PTCD関連製品、ペインブロッカーポンプなどの減少により全体では減少しました。血管系は主に心血管アンギオカテーテルの数量不足とマイクロカテーテルの伸び悩みにより減少しました。また、看護・検査系他では注腸検査用のチューブやドレープ系で減少しましたが、自動注腸装置、組織採取用の生検針、一般チューブ類などが販売を伸ばしたことにより増加しました。

OEM販売では翼付針は減少しましたが、主に血管系の造影関連製品、エクステンションチューブの増加により782百万円（同3.8%増）となりました。

輸出販売では、外科系のリザーバシステムと気管切開チューブは減少しましたが、泌尿器系のフォーリーカテーテル類、膀胱ろうカテーテル、胃ろう造設術関連製品の増加により、273百万円（同4.5%増）となりました。

最後に海外販売ですが、中国国内での販売活動は、泌尿器系、消化器系などすべての系統が2桁以上の増加をした結果、111百万円（同86.4%増）となりました。

また、製品系統別の実績では泌尿器系製品は1,136百万円（同7.8%増）、消化器系製品は1,613百万円（同0.2%減）、外科系製品は499百万円（同1.9%減）、血管系製品は861百万円（同0.5%減）、看護・検査系他製品は389百万円（同9.1%増）、その他で3百万円（同5.9%減）となっております。

一方、利益面につきましては、自社販売を中心に各販売形態ともに売上全般が順調でありましたが、販売費及び一般管理費の増加や為替差損などによりまして、売上総利益は2,283百万円（同2.0%増）、営業利益は617百万円（同1.9%減）、経常利益は590百万円（同6.6%減）、四半期（当期）純利益は367百万円（同55.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して193百万円増加して、14,562百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が79百万円減少したのに対し、機械装置及び運搬具の購入152百万円や国債の購入による投資有価証券の増加94百万円などが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して53百万円増加して、3,855百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が120百万円減少したのに対して、夏季賞与にかかる未払費用の計上136百万円、退職給付引当金の増加26百万円などが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、140百万円増加して、10,706百万円となりました。これは、利益剰余金の増加191百万円が主な要因です。

2. キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

| | 前四半期 [平成21年第2四半期] | 当四半期 [平成22年第2四半期] | 増減額 |
|------------------|----------------------|----------------------|------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 664 | 438 | △225 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10 | △289 | △279 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △180 | △182 | △2 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,759 | 3,977 | 217 |

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は438百万円となりました。これはたな卸資産の増加130百万円、仕入債務の減少137百万円、法人税等の支払228百万円などによる資金の減少に対し、税金等調整前当期純利益590百万円、減価償却費106百万円、売上債権の減少74百万円などによる資金の増加が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は289百万円となりました。これは社債・国債の購入により資金の支出200百万円と機械装置などの有形固定資産の購入による支出68百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は182百万円となりました。これは配当金の支払による支出173百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成22年2月4日発表の数値を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間から、新たに設立したVietnam Create Medic Co., Ltd. を連結の範囲に含めていません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結累計期間末の貸倒実績等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

在外子会社及び重要性のない国内子会社において、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,990,332 | 4,040,148 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,238,596 | 3,318,064 |
| 有価証券 | 410,000 | 310,000 |
| 商品及び製品 | 1,254,549 | 1,220,404 |
| 仕掛品 | 414,869 | 387,964 |
| 原材料及び貯蔵品 | 436,788 | 377,379 |
| 繰延税金資産 | 112,053 | 111,570 |
| その他 | 80,080 | 47,074 |
| 貸倒引当金 | △11,000 | △11,000 |
| 流動資産合計 | 9,926,269 | 9,801,607 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,763,361 | 1,848,163 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 303,913 | 151,225 |
| 土地 | 1,485,088 | 1,551,003 |
| リース資産（純額） | 20,999 | 13,684 |
| 建設仮勘定 | 28,965 | 147,232 |
| その他（純額） | 90,785 | 86,450 |
| 有形固定資産合計 | 3,693,113 | 3,797,759 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 72,705 | — |
| 特許権 | — | 7,540 |
| その他 | 49,635 | 55,738 |
| 無形固定資産合計 | 122,341 | 63,279 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 242,198 | 148,045 |
| 繰延税金資産 | 434,286 | 416,449 |
| その他 | 146,496 | 145,524 |
| 貸倒引当金 | △2,593 | △4,487 |
| 投資その他の資産合計 | 820,387 | 705,532 |
| 固定資産合計 | 4,635,842 | 4,566,571 |
| 資産合計 | 14,562,111 | 14,368,178 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 867,412 | 988,028 |
| 短期借入金 | 900,000 | 900,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 98,481 | 102,873 |
| リース債務 | 9,804 | 6,542 |
| 未払法人税等 | 209,993 | 203,868 |
| 賞与引当金 | 42,175 | 33,660 |
| 役員賞与引当金 | 5,100 | 9,000 |
| その他 | 538,241 | 401,689 |
| 流動負債合計 | 2,671,209 | 2,645,661 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 91,837 | 100,394 |
| リース債務 | 12,244 | 7,825 |
| 退職給付引当金 | 880,475 | 853,961 |
| 役員退職慰労引当金 | 199,618 | 193,901 |
| 固定負債合計 | 1,184,175 | 1,156,082 |
| 負債合計 | 3,855,385 | 3,801,744 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,461,735 | 1,461,735 |
| 資本剰余金 | 1,486,022 | 1,486,022 |
| 利益剰余金 | 7,906,629 | 7,715,328 |
| 自己株式 | △34,306 | △34,170 |
| 株主資本合計 | 10,820,081 | 10,628,915 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,876 | 15,812 |
| 為替換算調整勘定 | △125,230 | △78,293 |
| 評価・換算差額等合計 | △113,354 | △62,481 |
| 純資産合計 | 10,706,726 | 10,566,434 |
| 負債純資産合計 | 14,562,111 | 14,368,178 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,405,578 | 4,503,558 |
| 売上原価 | 2,166,024 | 2,219,631 |
| 売上総利益 | 2,239,554 | 2,283,926 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,609,902 | 1,666,538 |
| 営業利益 | 629,651 | 617,388 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,270 | 1,750 |
| 受取配当金 | — | 11,661 |
| 為替差益 | 907 | — |
| 金利スワップ評価益 | 2,935 | 1,142 |
| その他 | 7,102 | 4,920 |
| 営業外収益合計 | 16,216 | 19,474 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,184 | 8,709 |
| 手形売却損 | 702 | 842 |
| 為替差損 | — | 34,731 |
| その他 | 2,346 | 1,704 |
| 営業外費用合計 | 13,232 | 45,987 |
| 経常利益 | 632,634 | 590,874 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,000 | — |
| 特別利益合計 | 2,000 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 36 | 290 |
| 減損損失 | 144,968 | — |
| 特別損失合計 | 145,004 | 290 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 489,630 | 590,584 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 245,433 | 241,833 |
| 法人税等調整額 | 8,377 | △18,316 |
| 法人税等合計 | 253,810 | 223,516 |
| 四半期純利益 | 235,819 | 367,067 |

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 2,574,907 | 2,594,348 |
| 売上原価 | 1,210,053 | 1,232,232 |
| 売上総利益 | 1,364,854 | 1,362,116 |
| 販売費及び一般管理費 | 776,032 | 817,315 |
| 営業利益 | 588,821 | 544,800 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,204 | 567 |
| 受取配当金 | — | 11,661 |
| 為替差益 | △20,412 | — |
| 金利スワップ評価益 | 2,405 | 1,611 |
| その他 | 2,999 | 3,047 |
| 営業外収益合計 | △12,804 | 16,886 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,896 | 4,208 |
| 手形売却損 | 293 | 314 |
| 為替差損 | — | 37,276 |
| その他 | 662 | 1,131 |
| 営業外費用合計 | 5,851 | 42,929 |
| 経常利益 | 570,165 | 518,756 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 290 |
| 減損損失 | 144,968 | — |
| 特別損失合計 | 144,968 | 290 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 425,197 | 518,465 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 199,287 | 148,499 |
| 法人税等調整額 | 35,749 | 37,671 |
| 法人税等合計 | 235,037 | 186,170 |
| 四半期純利益 | 190,159 | 332,295 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 489,630 | 590,584 |
| 減価償却費 | 147,348 | 106,836 |
| 減損損失 | 144,968 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △2,000 | △1,894 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △17,397 | 8,549 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △5,600 | △3,900 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 28,478 | 26,514 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △36,173 | 5,717 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5,270 | △13,411 |
| 支払利息 | 10,184 | 9,551 |
| 為替差損益 (△は益) | △8,494 | 7,653 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 189,435 | 74,076 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △134,625 | △130,727 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 84,627 | △137,249 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △41,372 | 12,993 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △14,022 | △24,878 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 117,583 | 139,837 |
| その他 | △2,867 | 1,809 |
| 小計 | 944,433 | 672,060 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,815 | 4,322 |
| 利息の支払額 | △10,035 | △9,355 |
| 法人税等の支払額 | △275,606 | △228,071 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 664,607 | 438,955 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △602 | — |
| 有価証券の償還による収入 | 200,740 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △205,928 | △68,316 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 255 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7,246 | △17,863 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △200,784 |
| その他 | 1,880 | △2,979 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,901 | △289,943 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,073 | △5,831 |
| リース債務の返済による支出 | △1,874 | △3,886 |
| 配当金の支払額 | △173,238 | △173,029 |
| その他 | △256 | △135 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △180,444 | △182,882 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 24,486 | △15,945 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 497,747 | △49,816 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,261,647 | 4,027,048 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,759,395 | 3,977,232 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)及び 当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)において、当社グループはディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主事業としており、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。このため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)及び 当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)において、本邦の売上高はセグメントの売上高の合計額に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)

| | 欧州 | その他 | 計 |
|-------------------------|---------|--------|-----------|
| | 千円 | 千円 | 千円 |
| I. 海外売上高 | 230,120 | 32,365 | 262,486 |
| II. 連結売上高 | — | — | 4,405,578 |
| III. 連結売上高に占める 海外売上高 | 5.2% | 0.7% | 6.0% |

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
2. 各区分に属する国又は地域の内訳は以下のとおりであります。
欧州・・・ドイツ、イタリア、他
その他・・・オーストラリア、中国、韓国、他

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)

| | 欧州 | その他 | 計 |
|-------------------------|---------|--------|-----------|
| | 千円 | 千円 | 千円 |
| I. 海外売上高 | 233,072 | 40,039 | 273,111 |
| II. 連結売上高 | — | — | 4,503,558 |
| III. 連結売上高に占める 海外売上高 | 5.2% | 0.9% | 6.1% |

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
2. 各区分に属する国又は地域の内訳は以下のとおりであります。
欧州・・・ドイツ、イタリア、他
その他・・・オーストラリア、中国、韓国、他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。